新潟理容美容専門学校

課目基本情報

授業科目名	理容実習	課目区分	必修課目
年度	2026	年次	1，2年次
開講学期	1年次1学期	授業の方法	実技
単位数	30	授業時間数	900
担当教員名	高橋　光　　殖栗　雅　　阿部 なおみ　　橘　広子		
教員実務経験	理容師の免許取得後、4年以上の実務経験		

授業・課目情報

学　習　目　標	理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に、さらにその操作を適宜組み合わせて完成させる技術を身につける。 サロンにおける衛生管理の重要性を認識し、器具の消毒などの適切な実施方法を身につける。 お客様の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身につける。	
教　　科　　書	発行　公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容技術理論１　　理容技術理論２　　理容実習１　　理容実習２	
授 業 計 画	1年次1学期	器具の取扱実習 器具の操作、消毒、手入れ方法、用途に適した選択方法技術を行う 場所の位置、姿勢、基本動作、清掃、消毒などの衛生管理 基礎技術実習 ―― ヘアカッティング・ネイル
	1年次2学期	頭部、顔部及び頸部技術実習 ヘアカッティング・シャンプー・シェービング・カラーリング 頭部処置技術
	1年次3学期	総合実習 頭部、顔部及び頸部技術、特殊技術を組み合わせて調和のとれた理容技術を完成させる
	2年次1学期	頭部、顔部及び頸部技術実習 シャンプーイング・ヘアカッティング・カラーリング
	2年次2学期	スキャルプトリートメント・ヘアトリートメント パーマネントウェービング・ヘアカッティング・シェービング シャンプーイング・ヘアアイロン技術
	2年次3学期	ヘアカッティング・シェービング・ヘアセッティング
授業の進め方	理容技術理論の学習状況と実習との相互の連携を図って進めていく。	
試験の実施方法	学期末試験 学期末に実施し、相モデル（人頭モデル）及びモデルウィッグを使用しての実技試験とする。	
成績評価方法	評価は次の4つの観点から行う。	
	１．基礎技術能力 ２．応用技術能力 ３．創造デザイン能力 ４．意欲・態度	